

ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA



今回の定例会は

3月 6月

No.66

12月 9月

11月臨時会 12月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会
発行日 / 2018年(平成30年)2月1日

〒720-8501 福山市東桜町3番5号
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

いろは丸展示館と常夜燈
(鞆町)

新春のごあいさつ	2
11月臨時会の概要	2
12月定例会の概要	2
議案の審議結果	3～4
一般質問	5～10
委員会の活動	11
特別委員会の視察報告	12

新春のごあいさつ



議長
小川 真和

皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、福山市政では、福山駅前再生や福山ネウボラの導入など、新たな施策が動き始めました。

市議会では、全ての本会議において、手話通訳士を配置しインターネットでの映像配信を始めました。また、今年は、政務活動費の領収書等をインターネットで公開し、より一層の使途の透明化を図るとともに、タブレットを導入し議会のペーパーレス化に取り組んでまいります。

今後も、開かれた市議会の推進と議会改革に全力を傾けてまいり所存でありますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

11月臨時会

平成29年11月臨時会（11月6日／会期1日間）の概要は次のとおりです。

平成28年度の企業会計（病院、水道、工業用水道、下水道の各事業会計）決算認定について、議案を審査した企業会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、採決し、4議案を認定

総務課長が2件の市長専決処分について報告

「平成29年度一般会計補正予算の市長専決処分の承認を求めることについて」を承認

市長が市政の状況と12議案（平成28年度一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定）の提案理由を説明

12議案は、一般・特別会計決算特別委員会を設置して付託（同委員会が11月6日から10日まで審査）

12月定例会



平成29年12月定例会（12月1日～20日／会期20日間）の概要は次のとおりです。

1日 平成28年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定について、議案を審査した一般・特別会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、採決し、12議案を認定

総務課長が1件の市長専決処分について報告

市長が市政の状況と11議案の提案理由を説明

8日と11日から13日 議案や市政全般について20人の議員が一般質問

13日質問終了後 市長が9件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案10件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の10議案は所管の常任委員会に付託

14日 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

15日・18日 予算特別委員会で議案を審査

20日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、20議案を原案どおり可決

人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めることについて同意

※1：9月定例会に提案されたもので、企業会計決算特別委員会（委員19人）を設置して付託し、9月26日から28日までの3日間で審査しました。

※2：11ページの「平成28年度一般会計・特別会計決算を審査」をご覧ください。

この定例会で決まったこと
(一部をお知らせします)

【市長提出議案】

■補正予算

- ワインなどの地域資源を活用した備後圏域の魅力創出発信事業費

- 公共施設の長寿命化対策として、本庁舎、市民センター、小中学校、保育所などの施設整備費

- 農業経営の法人化を支援する事業費の補助

- 瀬戸川流域や神辺町安那地区の農業用水路の改修

- 来年度に開催予定のばらのまち福山国際音楽祭2018の広報・宣伝活動等に取り組む実行委員会への負担金

- 新市町芦浦自治会ほか3カ所の地域集会所の改修費助成など

■条例

- 手話を言語と位置付けて手話への理解および手話の普及に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため市の責務、市民や事業者の役割、市の施策などを定めます。(こころをつなぐ手話言語条例の制定)

■その他

- 公の施設「福山夜間成人診療所」の指定管理者に、市内の4医師会により設立された一般社団法人福山夜間成人診療所共同事業体を指定します。(指定期間は平成30年4月1日から5年間)



条例成立後、議場にて

平成29年12月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対

付託委員会	議案名	水曜会 (15人)	公明党 (7人)	誠友会 (5人)	日本共産党 (4人)	市民連合 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (2人)	採決結果
決算特別	平成28年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成28年度都市開発事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成28年度集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	認定
	平成28年度食肉センター特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成28年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成28年度商業施設特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	認定
平成28年度母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定	

次ページに続く

○は賛成、×は反対									
付託委員会	議案名	水曜会 (15人)	公明党 (7人)	誠友会 (5人)	日本共産党 (4人)	市民連合 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (2人)	採決結果
決算特別	平成28年度誠之奨学資金特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成28年度財産区特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
予算特別	平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度工業用水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
総務	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び特別職の職員に対する期末手当の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	一般職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
民生福祉	市立保育所条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	こころをつなぐ手話言語条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	可決
	公の施設(夜間成人診療所)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教経済	ふくやま美術館及びふくやま書道美術館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	公の施設(えほんの国)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設水道	市営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	○	×	○	○	○	同意

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各会派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	205分
誠友会	3人	165分
日本共産党	2人	145分
市民連合	2人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



早川 佳行
水曜会
(60分)

加茂地域の公共施設整備の考えは

問 加茂学区民は、周辺の合併した地域と同じような公共施設の整備が必要と考えるが、市の考えは。

答 学区内の公共施設の在り方について総意をまとめられたことは、自らのまちは自らがつくると

いう成熟した住民自治意識の下、協働のまちづくりが進められていることによるものであり、本市としても地域の思いを十分に受け止めたいと考えている。地域のご意見は、学区内にある支所、福祉会館等5つの施設を集約し、新たに施設を整備するというものである。今後、地域の方と十分議論する中で思いを共有し、地域特性に合った地域の活性化につながる施設となるよう、市の公共施設等サービス再構築基本方針を踏まえ施設の集約・複合化に向けて検討していく。



神原 則男
水曜会
(60分)

都市のコンパクト化は

問 都市のコンパクト化の実現には、市民自らの意思による自然な移動をいかに進めるかがポイントであると思うが、見解を。

答 医療、福祉、商業等、生活に不可欠な施設の経営は、その周辺の居住人口、いわゆる商圏人口

に依存していることから、商圏人口は、地域の活力を表すものであると考えられる。商圏人口が維持される地域には、それらの施設の立地などにより利便性を求めて人口が移動すると考えられる。

市のホームページに公表している商圏人口分布図等は、将来の人口の移動の状況や生活に不可欠な施設の立地状況を分かりやすく表示しており、市民のライフステージに応じた生活設計等に活用されることで、自然で無理のない都市のコンパクト化を緩やかに進めることができるものと考えている。



連石 武則
水曜会
(60分)

鞆のまちづくりは

問 ①重伝建の選定や朝鮮通信使に関する記録が世界記憶遺産に登録されたこと等を通じてまちづくりをどう進めるのか。②埋め立て架橋計画撤回後の代替策の取り組み状況は。

答 ①今後も地域の皆さまと一体となって全国に誇れる鞆の町並

みを永く継承し、文化あふれる良好な生活環境の形成と魅力ある地域づくりにつなげる。また、鞆の浦の認知度向上に伴い、観光客の増加が見込まれるため、観光ルート上の手すりの整備や、新たな場所への設置も含めてトイレの配置について検討し、観光客等が快適に周遊できる環境整備に取り組み。②県は、代替策として示されている山側トンネルを含む全体的な方針等について、地元と意見交換を継続する考えであり、本市としては、事業が着実に進捗するよう引き続きしっかりと調整していく。

*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



木村 秀樹
水曜会
(60分)

**福山北産業団地第Ⅱ期事業
推進に向けての考えは**

問 ①第Ⅰ期事業の成果は。
②第Ⅱ期事業の概要は。

答 ①第Ⅰ期事業では、25社に
対し約32ヘクタールを分譲した。
成果としては、第Ⅰ期進出企業か
らの聞き取りによれば企業全体で
の売上額が年間約590億円と



石口 智志
水曜会
(60分)

道路網の整備計画は

問 ①幹線道路の交通環境の
悪さは物流等経済や市民生活に
多大な影響を与えている。慢性
的な渋滞解消に向けての計画は。
②市町間をつなぐ幹線道路の整
備についての考えは。

答 ①国道2号の渋滞対策に福
山道路の整備は不可欠で、現在事

なっており、地域経済に一定の波
及効果をもたらしていると考え
る。また、雇用者数が約240人の新
規雇用を含む約900人となっ
ており、本市の経済活性化に大きく
寄与しているものと認識している。
②第Ⅱ期事業の現時点での分譲面
積は約24ヘクタールの計画となっ
ており、市が施工主体として事業
に取り組む。引き続き、修正後の
基本計画やこれまでの検討資料を
基に、事業費や財源、スケジュー
ルなどの最終的な精査を行った上
で、新年度の当初予算に必要な予
算を計上していく。

業化している区間の早期の工事着
手に向け用地取得に取り組んでお
り、平成29年10月末現在の用地取
得率は約84%である。北部方面か
ら市中心部への幹線道路の抜本的
な渋滞対策としては、県事業の福
山西環状線の整備が必要で、全延
長約8・9キロメートルの用地取
得率は平成29年10月末現在で約
48%である。引き続き、県と連携
し、事業の着実な推進に努める。
②近隣地域の8市1町で構成する
備後地区建設促進協議会において
引き続き、国や県に対して道路整
備の促進を要望していく。



喜田 紘平
水曜会
(70分)

持続可能なまちづくりへの対応は

問 ①市内の大学卒業生の地
元定着率向上の取り組みは。
②生産年齢人口の移住策は。
③チャレンジ・ウィークふくや
までの第2次産業の受け入れ事
業所の確保は。
④医療的ケア児への対応は。

答 ①市内企業の多くが人材確



宮地 徹三
公明党
(50分)

市長の新年度に向けた取り組みは

問 予算編成方針と施策は。
答 5つの挑戦の加速、人口減
少対策、備後圏域における拠点機
能の強化を3つの柱に福山北産業
団地第Ⅱ期事業、駅前再生や福山
城築城400年事業、中学校給食
の整備加速などに取り組む。また
リーデンローズや新総合体育館の

保で悩んでおり、地元定着率向上
は今後の市内企業の活性化にとっ
ても不可欠である。地元定着率向
上を図るため地元企業を知っても
らう取り組み等を入れていく。
②積極的な情報発信等により本市
への移住促進に努めていく。
③第2次産業で職場体験をする生
徒が全体の1割未満である。引き
続き生徒が体験できる新たな事業
所の受け入れ拡大に向け取り組む。
④教育行政では、受け入れを基本
に実態に応じて看護介助員を配置
していく。保育行政では、受け入
れ拡大に向け検討していく。

就労継続支援A型事業所の破綻は

問 解雇された利用者保護は。

答 障がい福祉課に専用の相談
窓口を設置するとともに、再就職
に向けた支援として12月18日に合
同面接会、21日に障がい者就労説
明会を予定している。また、未払
い賃金の確保に向け県や関係市と
連携して取り組む。今後とも利用
者一人一人に相談や支援を行うな
ど利用者保護に全力で取り組む。



生田 政代
公明党
(35分)

健康寿命を延伸する取り組みは

問 ①本市の健康寿命の現状は。
②ひろしまヘルスケアポイントとは。

答 ①健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間で、平成27年本市においては男性79・35歳、女性84・44歳である。

②健康寿命の延伸をめざし、県と市町が共同実施する「ひろしまヘルスケアポイント」は健康づくりに取り組みことで、パソコンやスマートフォンを通してポイントのため、協賛店で割引等の特典を受けられる仕組みである。ポイントがたまる事業は、県内共通のものとしては、健康診断の受診、毎日の歩数・体重の記録、献血などがある。加えて本市では、健康ふくやま21フェスティバルや市が管理するスポーツ施設の利用などでもポイントをためることができ、運動機能の活性化につながり、体力向上と健康の維持・増進が図られる有意義な運動である。



門田 雅彦
公明党
(40分)

ラジオ体操による健康寿命の延伸への取り組みは

問 ラジオ体操の有効性についてどう考えるか。

答 ラジオ体操は、誰もが気軽に行える健康法として今日まで長く受け継がれており、継続して行うことにより柔軟性を高めたり、筋力の低下を防止したりするなど

また、ラジオ体操は、さまざまな世代の人たちが、同じ時間に同じ場所で行うことにより、世代間交流や高齢者の孤立防止、見守りなど、地域福祉やまちづくりにもつながるものと考えている。本市では、ラジオ体操の普及に向けて、毎年ラジオ体操講習会を開催し、市民の健康増進に役立つとともに、指導者の育成に努めている。



宮本 宏樹
公明党
(40分)

公共施設の再整備は

問 加茂町内の公共施設の再整備についての考えは。

答 今後、地域の方と十分議論する中で、地域の活性化につながる施設となるよう、施設の集約・複合化に向けて検討していく。

高齢者施策は



奥 陽治
公明党
(40分)

若者の自立支援事業は

問 ①青少年自立支援事業は。
②生活困窮者への支援の方法は。
③いじめの相談体制は。

答 ①今後、社会体験活動プログラムの新たな周知方法等を検討するとともに、創意工夫したプログラムにより、引きこもりがちな青少年の社会参加を促せるよう多

問 ①認知症者の徘徊対策は。
②介護ロボットの導入推進は。

答 ①家族などからの行方不明届により、市のメール配信サービスやラジオ放送等を活用して徘徊高齢者等の早期発見を図っている。徘徊高齢者は、市境を越えて移動することが想定されるため、平成30年度から事業対象市町を備後圏の6市2町に広げる予定である。②平成28年度に介護ロボット導入促進事業を実施し、見守りや移動支援などのためのロボットを導入した法人に対して補助を行った。

様な活動機会を提供していく。また、個々の実情に応じた支援策として、NPO法人等とのネットワークづくりの推進を加え、効果的な支援の在り方等を検討していく。②相談者本人や家族の状況を聞き取る中で課題整理と原因分析後関係者による支援調整会議を経て支援プランを決定し、伴走型支援を行い、自立につなげている。③現在、各学校が行っているいじめ等の早期発見、早期対応の取り組みを継続するとともに、電話相談窓口などを児童生徒が気軽に利用できるよう周知、啓発に努める。



平松 正人
誠友会
(45分)

**地域包括支援センターの
取り組みは**

問 老老介護などへの対応に向けてセンターの取り組みは。

答 本市は高齢社会から超高齢社会に移行し、高齢者のみの世帯の増加等、その社会状況は大きく変化し、在宅医療・介護連携や認知症施策の推進など、センターの



能宗 正洋
誠友会
(50分)

インバウンド誘致対策は

問 海外から観光客を招き入れるインバウンド誘致の考えは。

答 県内への訪日外国人観光客は年々増加しており、欧米系外国人の割合が高い。今後、県の観光戦略と連携してアメリカとフランスにターゲットを絞り、世界最大の旅行情報サイト「トリップアド

果たすべき役割は一層高まってきている。高齢者を支える若い世代がセンターの存在と役割を知ることが重要で、普及啓発に取り組む。

**木造住宅への耐震シェルターや
耐震ヘッドの設置費補助とは**

問 設置費補助の導入経緯は。

答 耐震シェルター等は住宅内に鉄骨等で強固な空間を造り、住宅が倒壊した場合でも一定の空間を確保するもので、比較的安価で短期間に設置できる地震対策の一つとして耐震化の補助に追加した。

バイザー」を積極的に活用し、本市の自然や景観の魅力を際立たせる写真を中心に紹介する。

未来づくり100人委員会は

問 未来図の完成の時期は。

答 福山の未来づくりに思いを寄せる市民応援団の意見なども参考に、未来図が磨き上げられていくものと考えており、平成30年2月の未来図完成に向けて、誰もが分かりやすい未来図となるよう、点字、音訳など、さまざまな媒体についても検討していく。



徳山 威雄
誠友会
(70分)

**福山駅から天守閣が
望めるようにすること
「福山城駅」へ改名すること**

問 福山駅新幹線下りホームから福山城天守閣が望めるように、上りホームの屋根を高くするか、屋根を透明にすることと福山駅を「福山城駅」に改名することをJR西日本と協議して

はどうか。



河村 晃子
日本共産党
(72分)

**障害者就労継続支援A型事業所
を解雇された人の支援を万全に**

問 A型事業所を運営する一般社団法人「しあわせの庭」が経営破綻し、利用者112人と職員32人が突然解雇された。同法人の社会的責任とともに、行政の指導・監督責任が厳しく問われる。県やハローワーク、計

画相談員や民生委員などの関係機関と連携し、生活再建と再就職の支援を最後の1人まで、きめ細やかに対応すること。

答 現在、市内在住の利用者全員とコンタクトが取れており、専門の相談窓口を設けて生活相談や貸付金の相談などをワンストップで対応できる支援体制としている。

再就職支援についても相談や支援を行うなど利用者保護に全力で取り組む。また、経営改善報告書が提出されている事業所に対して適切な指導監督に努める。



高木 武志
日本共産党
(73分)

福山北産業団地第Ⅱ期事業は

問 市長は、2023年の分譲開始の予定で、総事業費約75億円の福山北産業団地第Ⅱ期事業を進めることを表明した。東京オリンピック終了後は景気が鈍化するとも言われ、分譲見込みに大きな不安がある。また市内でも分譲中の団地がある中

関係市町との調整もできておらず、さらなる自治体間競争に拍車がかかっているのではないかと。本市の市債増高を招く当事業を行わないことを求める。

答 福山北産業団地は、労働力の確保や交通アクセスの利便性から立地に優位性があると判断した。本事業は、本格的な人口減少社会を見据え企業が立地することで雇用機会の拡大につながり、地域経済への波及効果が期待されるもので、本市が持続的発展を遂げるための重要かつ喫緊の施策と考える。



川崎 卓志
市民連合
(70分)

手城川流域の浸水対策は

問 手城川流域浸水対策会議の結果と対策の具体内容は。

答 これまでの対策会議でハード、ソフトの浸水対策を検討した結果、今までの取り組みに加え新たな取り組みを次期出水期までの対策と中長期的な取り組み方針に整理し、県、市、土地改良区が連

携して取り組むこととしている。次期出水期までの取り組みとして本市は、内水氾濫シミュレーション等を実施するほか、雨水貯留施設の堆積土除去や流出抑制施設の設置に取り組む。県は、春日池へ水位計を、手城川中流部へ監視カメラをそれぞれ設置し、河川状況の監視体制を強化する。県と市においては、それぞれの管理する雨水貯留施設やため池の低水位管理などに取り組む。

また、中長期的な取り組み方針として雨水貯留施設の整備等、より効果的な浸水対策を検討する。



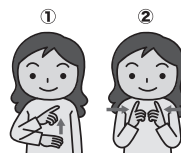
西本 章
市民連合
(75分)

手話言語条例の制定は

問 こころをつなぐ手話言語条例案に「こころをつなぐ」と表現した思いと条例案の特徴は。

答 過去には、手話は「手まね」と言われたり「ろう学校」でも手話を使うことが禁止されていた時代もあり、ろう者の方が歩んでこられた過去に思いを致し、手話が

心と心をつなげ、共生社会を実現したいという思いを込めている。条例案の特徴は、思いやり、優しさ、助け合いの心「ローズマインド」をもって、手話への理解を広め、共生する地域社会の実現をめざすことを前文にうたっていること。また、市が推進する施策として、ろう者の方々の強い願いである学校教育における手話の取り組みと災害時における情報提供などの対応を掲げているところである。



はじめまして

通学路の安全向上に向けた実証実験後の交通安全対策は

問 大津野小学校地区の市道で通行車両の速度を抑制し、児童が安全に通学できるようにする実験が行われている。

答 実証実験の結果が有効の場合市全体の交通安全対策を今後どのように進めていくのか。



大塚 忠司
新政クラブ
(70分)

答 今回設置しているハンプやポールは、実証実験のためレンタルにより設置したもので、実験後には撤去する予定である。今後、新たな地区においても、大津野小学校地区での取り組みを参考に、交通安全対策を進めるとともに、市内全域の通学路安全対策事業を

実施する際にも参考にしながら取り組む。



実証実験のため設置されたハンプとポール

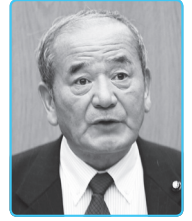
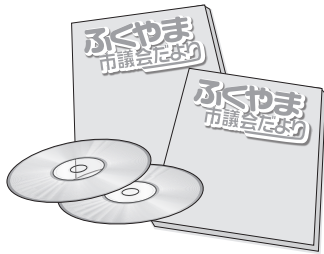
※ハンプ：自動車を減速させて歩行者や自転車の安全な通行の確保を目的として、道路を凸型に舗装し、通過する車両を一時的に押し上げるもので、事前にこれを見たドライバーが速度を落とすことを狙っている。

市議会だよりの音声版 CD 点字版冊子のご案内

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容をデジタイズ録音したCD、点字に翻訳した冊子を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。☎ 084-928-1136

※デジタイズ録音したCDを聞くためには、専用の再生機、または再生用ソフトの入ったパソコンが必要です。一般に市販されているCDプレイヤーでは再生できません。



石岡 久彌
無所属
(30分)

市職員の飲酒運転防止対策は

問 職員による飲酒運転の多発は重要な問題であり、防止のためには免職という厳罰を徹底すること。

答 引き続き、職員一丸となって飲酒運転の防止はもとより、交番法規の遵守を含めた公務員倫理の徹底を図っていく。

市職員の車両事故防止対策は

問 職員による気の緩みからくる車両事故が多発しており、防止のためには自己責任として本人に弁償させること。

答 事故を起こした職員に対する損害賠償金の請求については、国家賠償法上、国または公共団体が公務員に対して求償権を有するのは、故意または重大な過失があったときとされている。引き続き、法令にのっとり適切に対応していく。

本会議・委員会の傍聴のご案内

本会議や委員会は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議の当日、本会議は議会棟5階の傍聴受付で、委員会は議会棟2階の議会事務局庶務課で受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は受け付け順に交付します。

「3月定例会の開催予定」は次のとおりです。

3月定例会の開催予定

2/27 (火)	★本会議 (市長総体説明など)	3/12 (月)	予算特別委員会
3/2 (金)	議会運営委員会	13 (火)	予算特別委員会
5 (月)	★本会議 (代表質問)	14 (水)	予算特別委員会
6 (火)	★本会議 (代表質問)	15 (木)	予算特別委員会
7 (水)	★本会議 (代表質問)	16 (金)	予算特別委員会
8 (木)	★本会議 (一般質問など)	22 (木)	議会運営委員会
9 (金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)		★本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
(ただし、3月22日の本会議は午後1時からの予定です。)

○★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

平成28年度一般会計・特別会計決算を審査

11月臨時会(11月6日に開催)

に提案された平成28年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定議案12件を、一般・特別会計決算特別委員会(委員18人)を設置し、11月6日から10日まで審査しました。

6日と7日に帳簿等の書類審査、8日と9日に質疑を行い、各会計の予算が効果的に執行されているかなどを厳正に審査しました。10日には、それぞれの会計について討論を行い採決し



決算特別委員会

決算特別委員会として、それぞれ決算を認定することに決定しました。なお、この結果は12月定例会の初日(12月1日)に委員長報告を行いました。

委員会の活動(10月~12月)

10月から12月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

開催日	調査・審査項目	開催日	調査・審査項目	
総務	11/21	文教経済	11/21	<ul style="list-style-type: none"> 福山ビジネスサポートセンターFukuz-Biz 冬のイベント「ルクシアタふくやま2017」の実施 環境中のダイオキシン類、環境ホルモンおよびアスベスト濃度調査結果 歴史文化基本構想の策定 北京市教育交流推進事業 など
	12/12		12/14	<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案(2件)の審査 市立中学校完全給食実施方針の策定 など
	12/14			<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案(3件)の審査
民生福祉	11/21	建設水道	11/21	<ul style="list-style-type: none"> 大津野小学校地区交通安全対策社会実験 ダム貯水量および降水量の状況 配水量および下水流入水量の状況 中津原浄水場場内送水管布設工事請負契約締結 上下水道事業経営審議会の委員選任 走島海底送水管漏水事故 適正な汚水処理に向けた取り組み など
	12/14		12/14	<ul style="list-style-type: none"> 付託された議案(3件)の審査 就労継続支援A型事業所の経営破綻 市民病院改革プラン評価委員懇談会の概要 など

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

行財政改革特別委員会 (10月12日～13日)

四日市市：行財政改革および公会計に係る改革の取り組みについて
伊丹市：公共施設マネジメントの取り組みについて

四日市市では、平成27年に総務省が統一した基準による地方公会計マニュアルを示し、その基準による財務書類等の作成を要請する前から複式簿記による発生主義会計の財務書類の作成や固定資産台帳の整備をしてきました。平成28年度決算からは統一した基準による財務書類を作成、公表し、今後の公共施設の在り方、市民一人当たりのコストの把握、受益者負担の適正化などへの活用に向けた取り組みを積極的に進めています。

伊丹市では、人口減少社会に対応した公共施設マネジメントを推進するため、投資的経費のルール化等財政健全化や、財政状況の情報発信等、市民との情報共有などに取り組んでいます。

(委員長 中安加代子)



四日市市

都市整備特別委員会 (10月23日～24日)

高松丸亀町商店街振興組合・高松丸亀町商店街再開発事業について
高知市：駅前および高知城周辺のまちづくりについて

丸亀町商店街の目標は、商店街の再生ではなく丸亀町を住みたくなるまちにすることでした。そうなれば自然と商売は再生できるという方針から商店街の周辺には高齢者対応マンションが多数整備されました。ポイントはいかに行政が規制緩和に協力してくれるかということ、地方再生は市役所と議会にしかできないとアドバイスを受けました。

高知市でも中心市街地に民間分譲マンション建設が促進され、居住人口の増加を図っていました。また、高知には古くから「おきやく」という宴会文化があり、商店街の中にスペースを設けて宴会をするイベントの取り組みも面白いと感じました。

(委員長 大田祐介)



高松丸亀町商店街

特別委員会の視察報告

地方創生調査特別委員会 (10月16日～17日)

静岡市：「しずおか女子きらっ☆」推進事業について

認定NPO法人
ふるさと回帰支援センター
・UIJターンの支援等について

静岡市では、国や県より約20年早い1990年をピークに人口減少が始まっていることを踏まえ、2025年の総人口70万人の維持をめざす総合戦略を策定しています。その柱の一つとして、「しずおか女子きらっ☆」推進事業に取り組ま

れており、女性の活躍促進、再就職や起業をめざした女性向けのセミナーの開催など、大いに参考になりました。

東京の認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」では、地方

の活力を生かす具体的事例を交えながら、都会から地方への「UIJターン」を支援する活動について、意見交換をしました。

(委員長 法木昭二)



ふるさと回帰支援センター

※ふるさと回帰支援センター：地方での暮らしを希望する都市住民への情報提供や移住相談などの支援活動を行う認定NPO法人

編集後記

2018年の幕開け最初の市議会だよりは昨年11月臨時会と12月定例会について報告いたします。

毎議会、市民生活全般にわたる幅広い質疑が行われ、その積み重ねの中で、2020年9月に中学校給食が全校実施される運びとなりました。また「こころをつなぐ手話言語条例」が全議員の賛成で成立しました。

市議会だより編集委員会は、議会の様子を読みやすい紙面で伝えようと努力しています。どうぞ、ご一読のご意見・ご要望をお聞かせください。

(村井明美)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

